

教科 科目名	家庭科		学年・科目群	3学年・選択C	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
	保育基礎		単位数(年間授業時数)	3単位(105時間)			
学習目標 ～科目で身に付けられる「ちから」～			家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
三つの柱	(1)	知識及び技能	保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。				
	(2)	思考力・判断力・表現力等	子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。				
	(3)	学びに向かう力、人間性等	子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
教科書 教材	【教科書】保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ						
ポイント	(1)課題はクラスルームで配布します。毎回の授業で提出してもらいますので、指示に従い提出してください。 (2)欠席者も課題は提出してもらいます(評価に入れます)。わからない所は先生・友達に聞き、必ず提出してください。 (3)課題はチェックし、評価入力後、返却をいたします。再評価を受けたい生徒は再提出をしてください。 (4)実習ではエプロン・三角巾(全員必須)を使用します。その他相談しながら進めていきます。 (5)課題設定→実習前の学習(座学・実習準備)→実習→振り返り→次回への課題設定の流れで実習を展開していきます。また、率先して保育園の仕事を手伝ってください。 (6)毎回の評価では基本的に1～5点で評価をします。 A=85%以上 B=45% 84% C= 44%						
学習評価	評価の観点						
	a	知識・技能	保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける また、実際に子どもに触れ、遊びや食育などを通して、子どもとの関り方を知る。				
	b	思考・判断・表現	子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する。また、実際に遊びを考え、子どもと実践していく中で、子どもと関りについて考えることができる。				
c	主体的に取り組む態度	子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む。また、実習では積極的に子どもと関ると共に、子育てについて学ぼうとしている。					
学期	月	単元名	学習内容	このように学ぶことで...	こんな力が身に付きます	評価の方法	時数
前期	4・5	第1章 子どもの発達の特性	(1)生涯発達における乳幼児期の重要性 (2)発達と環境 * 実習で環境を見て、学ぶ (3)発達観と児童観 * 実習で様々な年齢を見て学ぶ	○学んだことを実習で確認し、知識をより深めていく。 ○子どもと積極的に関わる。 ○保育士の様子を観察し、模倣する。	未来を見通す力・探究する力	知 課題・GW・実習 思 課題・GW・実習 主 課題・GW・実習	13
	6・8	第2章 子どもの発達過程	(1)身体発育と運動機能の発達 * 実習でテーマを持って観察する。 (2)乳幼児期のからだの発達 * 乳幼児期の発達の特徴 * 課題設定を行い、オリジナル遊びを提供し、発育・発達の特徴を学ぶ (4)人間関係の発達 * 実習で人間関係に注目して関わっていく (5)心の発達 * 個性・年齢によって変わる情緒機能について観察する。	○学んだことを実習で確認し、知識をより深めていく。 ○子どもと積極的に関わる。 ○保育士の様子を観察し、模倣する。 ○自己で課題設定を行い、実習で学び、振り返り、次回へ課題設定をするサイクルを積み重ね、子どもについてより理解を深める。 ○将来の進路に合わせて、テーマを考える	未来を見通す力・探究する力 継続して挑戦する力・創造する力 協働する力・他者を思いやる心	知 課題・GW・実習 思 課題・GW・実習 主 課題・GW・実習	32
	9	第3章 子どもの生活	(1)子どもの健康と生活 (2)子どもの食事 * 子どもの食事に関り、実態・課題に触れる。	○学んだことを実習で確認し、知識をより深めていく。 ○子どもと積極的に関わる。 ○保育士の様子を観察し、模倣する。	未来を見通す力・探究する力	知 課題・GW・実習 思 課題・GW・実習 主 課題・GW・実習	10
後期	10・11	第3章 子どもの生活	(3)子どもの衣服 (4)子どもの遊びと生活 * 課題設定を行い、オリジナル遊びを提供し、遊びの効果について学ぶ。 (5)子どもの健康管理	○学んだことを実習で確認し、知識をより深めていく。 ○子どもと積極的に関わる。 ○自己で課題設定を行い、実習で学び、振り返り、次回へ課題設定をするサイクルを積み重ね、子どもについてより理解を深める。 ○将来の進路に合わせて、テーマを考える	未来を見通す力・探究する力 継続して挑戦する力・創造する力	知 課題・GW・実習 思 課題・GW・実習 主 課題・GW・実習	15
	11	第5章 子どもの福祉と子育て支援	(1)子どもの福祉 (2)子育て支援	○学んだことを実習で確認し、知識をより深めていく。 ○子どもと積極的に関わる。 ○保育士の様子を観察し、模倣する。	未来を見通す力・探究する力	知 課題・GW・実習 思 課題・GW・実習 主 課題・GW・実習	5
	11・1	第4章 子どもの保育	(1)保育の意義と目標 (2)保育の方法 (3)保育の環境 * 保育の目的と目標を持ち、3回目のオリジナル遊びについて取り組む。研究発表 * 1年間の学びをまとめ、2年家庭基礎で発表し、これからの子育てについて考える。	○学んだことを実習で確認し、知識をより深めていく。 ○子どもと積極的に関わる。 ○自己で課題設定を行い、実習で学び、振り返り、次回へ課題設定をするサイクルを積み重ね、子どもについてより理解を深める。 ○将来の進路に合わせて、テーマを考える	未来を見通す力・探究する力 継続して挑戦する力・創造する力	知 課題・GW・実習・発表 思 課題・GW・実習・発表 主 課題・GW・実習・発表	30
							105
教科横断	単元 関連	子どもの保育 音楽・家庭基礎		○ピアノを実習で行うため、教科選択で音楽を取っている生徒は、音楽科の方でピアノを専門的に練習する。 ○家庭基礎では子どもの分野において、実習の話聞き、将来の子育てについて考えていく。			